

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

## 阪急交通社グループ 旅行概況(12月分)について

2023年12月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

### 株式会社阪急交通社

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年度 同月取扱高	2019年度 同月比
海外旅行	7,225,863	1,130,337	639.3%	13,966,971	51.7%
国内旅行	9,300,543	10,067,504	92.4%	8,300,392	112.0%
訪日旅行	126,825	37,509	338.1%	71,185	178.2%
合 計	16,653,231	11,235,350	148.2%	22,338,548	74.5%

#### 【概況】

12月の営業概況は、総取扱額166億5,323万1千円、2019年同月比74.5%となりました。海外旅行は、12月の出国日本人数が2019年度比で55.4%と前月より7.1ポイント低下しており、依然として訪日外国人数と比較して市場の回復が遅れています。

こうした中、当社では復便が進む韓国と台湾を中心に、全国の地方空港から出発する商品を増設するとともに、需要の回復が進むベトナムや香港、トルコの募集告知を強化しました。

その結果、ベトナム、韓国、香港の集客が2019年同期比を上回ったほか、台湾の集客が堅調に推移しましたが、その他の方面では回復ペースに差があり、取扱高は2019年同月比51.7%となりました。

国内旅行は、物価の上昇や人件費の高騰を背景に、旅行商品の販売価格が上昇傾向にあります。需要は概ね堅調です。

当社では企画性に富む、高付加価値商品の開発を進めていますが、12月は、高知県で冬の誘客イベント「花火」を開催し、全国各地からの集客増に取り組みました。また、テレビ通販による沖縄への全国的な募集告知を行うなど、積極的に冬季の販売促進を図りました。

その結果、各方面が順調に推移したほか、関東や近畿を中心とするテーマパークのイルミネーションや全国各地の観光地でのライトアップを組み入れた商品が伸長しました。

取扱高は、全国旅行支援で急激な需要増のあった昨年からは反動減となったものの、2019年度比で112.0%と順調な結果となりました。

## 株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年度 同月取扱高	2019年度 同月比
海外旅行	2,135,856	1,876,391	113.8%	2,761,856	77.3%
国内旅行	271,680	176,315	154.1%	235,722	115.3%
訪日旅行	6,963	0	—	4,768	146.0%
合計	2,414,500	2,052,708	117.6%	3,002,346	80.4%

※前年および2019年度同月取扱高は、阪神ラベル・インターナショナルの取扱高を合計し、2社内取引を相殺したものです。

### 【概況】

12月の営業概況は、総取扱額24億1,450万円、前年同月比117.6%、2019年同月比では80.4%となりました。

海外旅行では、米国への業務渡航が活況であったほか、その他方面においても需要が堅調に推移し、2019年同月比77.3%となりました。

国内旅行は、業務出張の取扱いが堅調に推移したことに加え、団体旅行の取扱いも増加した結果、前年同月比154.1%となり、前年を大きく上回りました。

## グループ2社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年度 同月取扱高	2019年度 同月比
海外旅行	9,106,959	2,984,899	305.1%	16,631,920	54.8%
国内旅行	9,543,412	10,219,660	93.4%	8,460,129	112.8%
訪日旅行	133,788	37,509	356.7%	75,953	176.1%
合計	18,784,159	13,242,070	141.9%	25,168,002	74.6%

※グループ内取引を相殺したものです。

### <本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724